



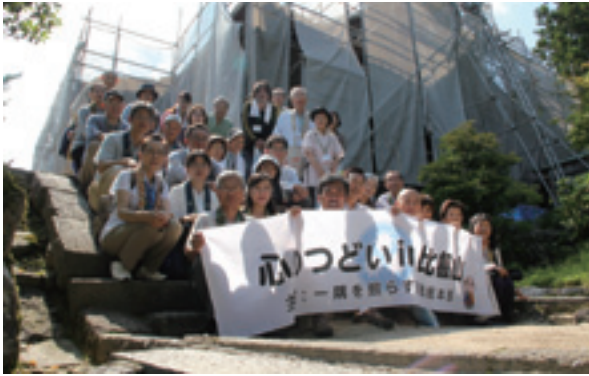
一隅を照らす運動総本部だより
No. 38



一隅を照らす運動ホームページアドレス
<http://ichigu.net>

第14回 心のつどいin比叡山

7月10・11日 比叡山延暦寺会館



第十四回「心のつどいin比叡山」（一隅を照らす運動総本部主催）を比叡山延暦寺会館で開催。七月十日、十一日の一泊二日の日程で、一般公募で募った男女三十二名が参加した。

一日目には、開講式が行われた後、諸堂参拝として無動寺谷明王堂を参拝した。道中参加者は、落語家・露の団姫師や参加者同士で談笑したり、比叡山の自然豊かな空気に思いつきり浸っていた。明王堂では、参加者全員で『般若心経』、回峰行の始祖であり明王堂を建立された相応和尚の宝号をお唱えした。おつとめの後、北嶺大行満大阿闍梨・光永圓道師（延暦寺一山大乗院住職）より

御講話いただき、普段なかなか聞くことのできない大阿闍梨様のお話しに全員熱心に聞き入っていた。

夕食の後、露の団姫師の進行で座談会が開催され、横山照泰一隅を照らす運動総本部長や綾小路乗俊師（同運動企画運営委員会委員）を囲



み、様々な話で盛り上がりを見せた。翌二日目には、早朝五時半より朝霧の中、根本中堂において坐禅止観、その後、大書院内の庭の清掃を行った。

現在、天台宗では、祖師先徳鑽仰大法会の期間中ということ、今回から写経の時間には『法華経』に取り組んでいただき、納経することを目標としている。参加者は普段使わない漢字に苦戦しながらも、集中して一字一字丁寧に書き上げていた。



回の研修会では自分自身や家族や仲間のことなど沢山のことを見つめ直す機会になりました」と感想を述べていた。

ある参加者は、「普段の忙しい生活の中で自分と向き合う時間がなかったが、今

一隅を照らす運動推進大会

○神奈川大会

平成二十七年六月九日、神奈川教区本部（溝江光運教区本部長）では、横浜市都筑公会堂を会場に、一隅を照らす運動神奈川横浜大会として推進大会が開催され、住職・寺族・檀信徒ら約六百名が参加した。



第一部は、天台大師、伝教大師、恵心僧都、相応和尚の四師を壇上に祀り、祖師先徳鑽仰大法会神奈川教区法要が厳修された。

法要は、教区内寺院を代表して溝江教区本部長が大導師を、副導師に榎本昇道教区副所長、小堀光雄教区研修所所長が務められ、各部研修所幹事、仏教青年会の出仕のもと梵唄・散華にて執り行われ、法要中には檀信徒の代表がお供え物をお祖師に奉る伝供がなされた。参加者は、法要を通じてお祖師方のご遺徳を偲び信仰心を一層深めていたようであった。

法要に続いて大会会長の溝江教区本部長のご挨拶があり、来賓として一隅を照らす運動総本部の横山照泰総本部長、祖師先徳鑽仰大法会事務局の今出川行戒幹事よりそれぞれ祝辞が述べられた。今出川師からは、大法会について特に根本中道改修事業の理解と協力が呼びかけられた。

第二部では、前十二年籠山比丘で延暦寺一山円童院住職の宮本祖豊師により「覚悟の力」と題して講演された。

講演では、出家得度に至るまでの経緯や師僧との出会い、伝教大師に仕えるために前行として行われた「好相行」



の、六百日に及び百数十万回続けた壮絶な礼拝の様子、十二年籠山行での日常など二十年に亘る比叡山での修行生活をもとに話された。参加者には、宮本師の言葉が、心の一服の清涼剤になった様子であった。

第三部は、教区本部より神奈川県社会福祉協議会と、一隅を照らす運動総本部へ浄財が寄託され、最後に大会実行委員長の宮本恵信師より一隅活動の

報告がなされ、榎本教区副所長の閉会の辞によって大会は幕を閉じた。

○三岐大会

三岐教区本部（森喜良教区本部長）では、平成二十七年六月十九日に三重県伊賀市の常住寺（教区宗務所）を会場に三岐教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、住職や檀信徒百五十名が参加した。

第一部では、森教区本部長導師のもと、教区内寺院住職ら十七名により法



楽が勤められた。法要後、森教区本部長の挨拶、木ノ下寂俊一隅を照らす運動理事長より祝辞が述べられた。続いて、永年に亘り天台宗檀信徒会副会長や教区檀信徒会会長を勤められた、三田宏氏にこれらの功労に対し感謝状と記念品が森教区本部長より手渡された。

第二部では、テレビやラジオ、古典落語の活動で活躍され、一隅落語・仏教落語でおなじみの、露の団姫師による仏教落語「仏は君をホットケない」が披露された。

団姫師は、小噺を交え会場を笑いの渦に包み込み、落語を通して「一隅を照らす」精神を巧みな話術で笑いを誘いながら伝えていた。

最後に森教区本部長より当日参加者からの浄財が木ノ下理事長に寄託され閉会となった。

○兵庫大会

兵庫教区本部（雲井明善教区本部長）では、平成二十七年六月十九日に兵庫





県の姫路市文化センターを会場に、第四十六回兵庫教区檀信徒会総会並びに一隅を照らす運動推進兵庫大会を開催し、檀信徒ら約三百名が参加した。

はじめに、雲井教区本部長を御導師に法楽が行われ、雲井教区本部長、続けて、横山照泰一隅を照らす運動総本部長より祝辞が述べられた。

檀信徒会総会の後、推進大会が行われ、まずはじめに一隅を照らす運動実

践発表として、檀信徒三名が常日頃の実践活動の発表を行った。その後、実践者六名に横山総本部長より総本部長賞の表彰が行われた。

また、作家で高野山真言宗僧侶の家田莊子師による「この世に生まれ、生きて、生かされて……あと一歩前へ踏み出したいあなたへ」と題した講演が行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

大会最後は、兵庫教区第五部檀信徒会会長の田中満穂氏による挨拶で幕を閉じた。

○東京大会

平成二十七年六月二十五日、東京教区本部（杜多徳雄教区本部長）では、浅草公会堂を会場に、一隅を照らす運動東京大会が開催され、檀信徒ら約千二百名が参加した。

第一部法要では、輪王寺門跡・寛永寺住職神田秀順大僧正が大導師を務められ、叡山講福聚教会東京地方本部会員で和讃詠唱がなされ、天台聲明音律研究会、天台雅楽会仏青会員、教区内より出仕により執り行われた。参加者は、ご詠歌、聲明、雅楽、また、式衆の所作を通じてお大師様への想いを



深めていたようであった。

法要に続いて神田大僧正のご挨拶、杜多徳雄教区本部長より挨拶があった。また、来賓として一隅を照らす運動理事長の木ノ下寂俊宗務総長、一隅を照らす運動副理事長の小堀光實延暦寺執行、一隅を照らす運動総本部の横山照泰総本部長よりそれぞれ祝辞が述べられた。一隅を照らす運動推進と祖師先徳鑽仰大法会、根本中堂改修の理解と協力が呼びかけられていた。

最後に杜多教区本部長より教区内の

一隅を照らす運動実践者に表彰状が授与され第一部が閉じられた。

休憩を挟み第二部では、「南こうせつコンサート」が行われ大会に華を添えていた。第一部の厳かな雰囲気から一転、南こうせつ氏の歌唱はもちろんのこと、曲の合間のトークにも参加者は魅了され、会場は一気に盛り上がりを見せた。

大会の最後に、教区副本部長の開口晃成師より閉会挨拶があり、ご詠歌、雅楽、聲明、コンサートと、音楽、リ



ズム溢れる大会は幕を閉じた。

○信越大会

信越教区本部（師田香雪教区副本部長）では、平成二十七年六月二十五日に善光寺大勸進（長野市）の紫雲閣を会場に、「一隅を照らす運動」推進大会信越大会を開催し、二百名を超す参加者が集まった。

まず、福聚教会信越地方本部による



御詠歌が披露された後、師田教区副本長を御導師に参加者全員で法楽が行われた。

続いて、師田教区副本長より主催者の挨拶があり、続いて、来賓の阿部昌宏総務部長（天台宗参務）、獅子王圓明総務部長（延暦寺副執行）より祝辞があった。

第二部では、陸奥教区黒石寺住職の藤波洋香師を講師に迎え、「今ある幸

せ」と題した講演が行われた。藤波師が住職を務める黒石寺の歴史や、無形文化財でもある黒石寺蘇民祭の紹介に参加者は耳を傾け、冗談を交えたお話しに、会場は笑いに包まれていた。

最後に、吉澤道信一隅を照らす運動信越教区本部事務局長より閉会の辞が述べられ、大会は幕を閉じた。

○南総大会

南総教区本部（浅野玄航教区本部長）では、平成二十七年七月一日に千葉県いすみ市の岬ふれあい会館を会場に、第十六回南総教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約七百名の参加者が集まった。

牧野安貢教区檀信徒連合会副会長の挨拶で開会した大会は、はじめに教区の方々による御詠歌がお唱えされた後、仏教青年会による法楽が行われた。また、仏教青年会は独自にタイ植林事業などの活動をされており、その説明や会場外での写真展示などもあった。

主催者として浅野教区本部長、稲垣弘教区檀信徒連合会会長が挨拶され、細野舜海天台宗議会議員、横山照泰一隅を照らす運動総本部長より祝辞が述べられた。



第二部では、延暦寺一山円竜院住職の宮本祖豊師を講師に迎え、「十二年籠山行」と題した講演が行われた。

宮本師は、出家得度に至るまでの経緯や自身が経験された十二年籠山行など二十年にもわたる比叡山での修行の日々を話され、普段聞くことのできな

いお話しに熱心に耳を傾けていた。

宮本師の講演に対して、植田行貴教区檀信徒連合会会計より謝辞が述べられ、大会は盛会の内に幕を閉じた。



○九州西大会

九州西教区本部（甘井亮淳教区本部長）では、平成二十七年九月八日に佐賀県鳥栖市のサンメッセ鳥栖のホールを会場に、一隅を照らす運動推進大会・発心会を開催し、二百名を超す参加者が集まった。

天台宗祖師先徳鑽仰大法会の期間中ということもあり、今大会は発心会を実施した。祖師先徳鑽仰大法会事務局



が発行している『発心のおつとめ』に則り、参加者全員でお唱えし、発菩提心を自覚した。

発心会終了後、九州西教区安禪寺御住職の松本達淳師が「心のお掃除〜三分間で心がきれいになります〜」と題して法話をされた。

法話の中で「感謝の心を持って『南無大師福聚金剛』と三遍お唱えして

ださい。そうすれば心がきれいになります。」とまとめられ、冗談を交えた法話に、参加者は熱心に聞き入っていた。

最後は、国崎一潔同運動教区本部事務局長による閉会宣言にて大会は幕を閉じた。



切手・葉書を募集中

一隅を照らす運動総本部では、未使用・使用済みの切手や葉書を募集しております。寄せられた切手は、社会福祉法人武蔵野会（東京都八王子市）に、葉書は、認定NPO法人チャイルド・ファンド・ジャパン（東京都杉並区）を通じて社会福祉や海外の子どもたちのために有効に活用されています。

〈募集方法〉

○未使用・使用済みの切手

切手の周り5mm〜1cm程度の余白を残して、封筒や葉書の紙ごとハサミで切り取ります。消印が鮮明であれば消印部分も一緒に切り取ってください。外国切手は別に分けてください。

○未使用・書き損じの葉書（年賀状も含む）

収集は自宅で、職場で、学校で、仲間同士で気軽に取り組むことができ、一隅を照らす身近な実践活動の一つです。集まりましたら、一隅を照らす運動総本部までお送りください。

※なお、昨今のプリペイドカードを取り巻く市場環境変化を考慮した結果、使用済みプリペイドカードの募集はございません。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



一隅を照らす運動ニュース

◎「一隅を照らす運動」理事会を開催
 平成二十七年六月二十二日、天台宗務庁（滋賀県大津市）において平成二十七年第一回「一隅を照らす運動」理事会が開催された。本理事会では、平成二十六年度一隅を照らす運動の事業報告、各会計の決算等が審議・承認された。



◎日本ユニセフ協会へ支援金寄託
 平成二十七年八月四日、比叡山宗教サミット二十八周年「世界平和祈りの集い」（比叡山延暦寺）に先立ち、日本ユニセフ協会への募金寄託式が行われた。
 この募金は、毎年八月に行われる「天

また、今回の理事会では、役員改選があり顧問に二名の新任が承認された。



台青少年比叡山の集い」に参加したり、インターナショナル研修生が出席した募金と、全国から寄せられた浄財を合わせたもので、総額は三百万円。寄託式では、天台青少年比叡山の集い参加研修生の代表より、森川宏映一隅を照らす運動会長へ目録が手渡され、引き続き森川会長から早水研日本ユニセフ協会専務理事に目録が手渡された。

一隅を照らす

自身が輝くことで
周囲の人が
輝ける



POST & BEST



天台宗 一隅を照らす運動

一隅を照らす運動は、家庭や社会を明るく心豊かにしようとする運動です。

一隅を照らす運動本部 〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2 TEL.077-579-0022 FAX.077-579-2516 総本部ホームページ <http://ichigu.net>



私たちもこの運動に協力しています

一隅を照らす運動
株式会社

滋賀銀行坂本支店 ヨシダ印刷株式会社 株式会社D-COコミュニケーションズ 経緯野瀬光興株式会社 株式会社ティーシーエス 株式会社京産システムサービス うめ家
滋賀寺町西山門出入方 下野工業 株式会社パンパ 株式会社石田大成社 医療法人亀岡記念医学会関西記念病院 京都府 ダイソーロジスティクス株式会社 (滋賀支店)